学校番号	302

平成 31 年度　社会科

教科	社会科	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説世界史Ｂ』（山川出版社）						
副教材等	『最新世界史図説　タペストリー』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時系列にそって、因果関係を把握しながら物事を理解する能力を身につける。
・歴史を背景とした世界の国々の諸事情をふまえ、現在の日本のありかたを考える。

2　学習の到達目標

・諸史料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察する。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学習活動を通して、世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察することによって理解を深め、過去から現在へと継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身につける。	教科書や諸資料集から適切な情報を読み取り、年表・地図の作成や書き込み教材への記述、授業での発言をすることで、その理解を深めることができる。	歴史的な事象を、各地域の歴史である縦軸と、その伝播・交流である横軸の交錯によるものとして捉え、すべての要素により世界史が成り立っていることを理解する。
評価方法	出席状況、授業態度、ノートの提出などで評価。	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価。	授業での発言や定期テストなどで評価。	授業での発言や定期テストなどで評価。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	序章　先史の世界	・人類の進化 ・農耕・牧畜の開始と国家の誕生	○	○	○	○	a:自然環境と自然環境と歴史、人類の出現と進化にかかわる主題を意欲的に考察し、歴史への感心を深めようとしている。 b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、時代の考察に必要な諸史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 人類の出現と文明の誕生を地球環境の変化をふまえて理解し、その知識を身につけている。農耕開始が人間生活を大きく変えたことを理解している。	定期考査
	1章　オリエントと地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界	○	○	○ ○	○ ○	a: 西アジアと地中海沿岸部に形成された諸文明の特質について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: 西アジアと地中海沿岸部に形成された諸文明の特質を見いだし、地域世界相互の交流と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 西アジアと地中海沿岸部に形成された諸文明の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査

前期	2章 アジア・アメリカの古代文明	・インドの古典文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ 	a: インド、東南アジア、中国、アメリカの諸文明について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: インド、東南アジア、中国、アメリカの諸文明の特質を見出し、地域世界相互の交流などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: インド、東南アジア、中国、アメリカの諸文明の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査
	3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成	○ 	○ ○ 	 ○	 ○ ○	a: 魏晋南北朝の社会と文化、遊牧民の活動、隋唐の政治・社会と文化について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: 魏晋南北朝の社会と文化、遊牧民の活動、隋唐の政治・社会と文化の特質を見出し、相互の交流などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 魏晋南北朝の社会と文化、遊牧民の活動、隋唐の政治・社会と文化の特質や、唐代の律令体制の周辺諸国への影響について理解し、その知識を身につけている。	定期考査

後期	4章 イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・イスラーム文明の発展	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	a: イスラーム教の成立過程と教義、アラブ帝国からイスラーム帝国への発展、分裂後のイスラーム世界の拡大について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: イスラーム教の成立過程と教義、その発展・分裂に関する特質を見出し、他の地域世界との交流などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: イスラーム教の成立過程と教義、アラブ帝国からイスラーム帝国への発展・分裂に関す特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査

後期	5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	○ ○	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	a: 中世封建制度の成立過程とその仕組み、西ヨーロッパにおけるカトリックの発展とビザンツ帝国のもとでの東ヨーロッパ情勢について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: 中世封建制度と西ヨーロッパ・東ヨーロッパそれぞれの特質を見出し、地域間の交流と、社会状況の変化による中世封建制度の崩壊とを関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 中世封建制度と東西ヨーロッパに関する基本的な事柄について理解し、知識を身につけている。	定期考査
	6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	○	 ○	○ ○	 ○ ○	a:宋代の社会と変化、遼、金など北方民族と宋の関わり、について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: 中世封建制度と西ヨーロッパ・東ヨーロッパそれぞれの特質を見出し、地域間の交流と、社会状況の変化による中世封建制度の崩壊とを関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 中世封建制度と東西ヨーロッパに関する基本的な事柄について理解し、知識を身につけている。	定期考査

後期	7～12章	・14～20 世紀の概観	○	○	○	○	a: これまで学習した古代・中世史と、近世・近代・現代史とのつながりについて関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: これまで学習した古代・中世史と、近世・近代・現代史を関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: これまで学習した古代・中世史と、近世・近代・現代史の特質について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート
	13～16章 まとめ	・20 世紀～21 世紀の概観	○	○	○	○	a: これまで学習した古代・中世史と、近世・近代・現代史とのつながりについて関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b: これまで学習した古代・中世史と、近世・近代・現代史を関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: これまで学習した古代・中世史と、近世・近代・現代史の特質について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。